

# 第3回学校心理士災害支援研修会

(同時開催 学校心理士 SV 研究協議会)

一般社団法人学校心理士認定運営機構 主催

## 東日本大震災の被災地支援－学校心理士として今後の方向性を見定める

日 時：2016年10月16日（日）

場 所：東北文化学園大学 本部棟 5351 教室（仙台市青葉区 仙山線国見駅下車徒歩3分）

担当者：氏家 靖浩（仙台白百合女子大学教授）

大野 精一（日本教育大学院大学教授・機構理事・事務局長）

山谷敬三郎（北翔大学教授・機構理事）

宮城

### 第一部 10-12時 シンポジウム「宮城—震災と日常をつなぐ」（宮城からの報告）

【学校心理士資格更新ポイントA該当】

東日本大震災から5年を経過したかと思った矢先、熊本を中心とした九州地方を直下型の地震が襲った。災害時には発災直後の緊急支援が必要な段階と、必ずしも急を要するわけではないが、長期間にわたりコミュニティに密着しながらケアやサポートを進めていかなければならない段階がある。こうした2段階の被災地支援が区別されて設定されなければならない。特にこの長期間にわたってコミュニティケアを進めていく視点は、緊急支援と比べてみると、地味であり、遠方から駆け付けた短期的な支援者にも、様相が見えにくいのではないかと考えた。さらに、児童生徒に対するケアや学校をチームで支えるということは、震災が必ずしも前景に出てくるものではなく、日々の暮らしの影響や極めてありふれた日常の実践になるので、災害支援が目的の支援者にも、こうした生々しい実践をお伝えしておきたいと考えた次第である。

今回の研修会では、災害支援の側面と必ずしも派手に取り組まれた実践ではないが、宮城で地道に取り組まれてきたコミュニティケアについて紹介し、災害時にどうしても不利な立場になる児童生徒への支援や、多様な役割が期待される教師と学校に対する学校心理士の支援活動のヒントを共有したいと考えている。

#### 話題提供者(学校心理士資格保有者)

畠山みさ子(宮城学院女子大学名誉教授)

東日本大震災直後に、支援者支援を主目的として、学校心理士、臨床発達心理士、臨床心理士の有志により「ケア宮城」を結成し、宮城県教育委員会と連携して、学校教員を対象にした心のケア研修会を継続して行ってきた。

石川健(宮城県公立学校スクールカウンセラー 大和町教育相談員 仙台大学非常勤講師)

宮城県の特別支援学校校長を退職後、大阪教育大学附属池田小学校の児童殺傷事件を受けて、「子供たちの平和と安全」を願って始めた「いけだ夢燈花」の活動を「みやぎ夢燈花」として宮城でも継承し、東日本大震災後は石巻でさくらサポートに協力した。日常的には多くの学校で「スクールカウンセラー」として教育相談活動に従事し、学校を縁の下で支えている。

森谷就慶(東北文化学園大学医療福祉学部教授)

東日本大震災時に宮城県の地方部の心の健康相談に従事していた。宮城県のコミュニティケアの第一人者であり、臨床心理士や精神保健福祉士でもあることから、心のケアに関わる多様な専門職のスーパーバイザーアイデンティティの役割も果たしている。

司会・総括 氏家靖浩(仙台白百合女子大学教授)

## **第二部 13-15 時 SV 研究協議会「宮城—震災と日常をつなぐ」**

**【SV 研修Ⅱコンサルテーションあるいはスーパービジョンの方法】**

宮城からの報告と協議を受けて論点整理と参加各 SV 発表と研究協議

司会：大野精一（日本教育大学院大学教授） 山谷敬三郎（北翔大学教授）

## **第三部 15-16 時 全体総括**

講師：瀧野揚三（大阪教育大学教授）

**※第二部・第三部両方参加の場合【学校心理士資格更新ポイント A 該当】(SV 以外の学校心理士のみ)**

### **<参加資格>**

学校心理士 SV・学校心理士・学校心理士補・災害支援について研修したい一般の方

### **<申込期間>**

2016 年 9 月 1 日～9 月 30 日

### **<申込方法>**

以下を記し、機構事務局まで メール([office@gakkoushinrishi.jp](mailto:office@gakkoushinrishi.jp)) または FAX(03-3818-1588)にてお申し込み下さい。メールタイトルは「10 月仙台災害支援研修会申込」で、お送りください。

- ・ 所属
- ・ お名前
- ・ 学校心理士 SV・学校心理士・補資格をお持ちの場合は ID 番号
- ・ 連絡先電話番号
- ・ 連絡先メールアドレス
- ・ 参加する研修会（第一部・第二部・第三部）

### **<参加費>**

無料

### **<昼食について>**

なお、当日は徒歩圏内でコンビニエンスストア、スーパー、食堂等、昼食を確保できるところがございません。学内は飲料の自動販売機のみですので、終日参加予定の方は、各自お昼のご用意をお願い致します。

※宿舎については各自でご予約下さい。

※交通アクセスについては、<http://www.tbgu.ac.jp/about/access/>をご覧下さい。